

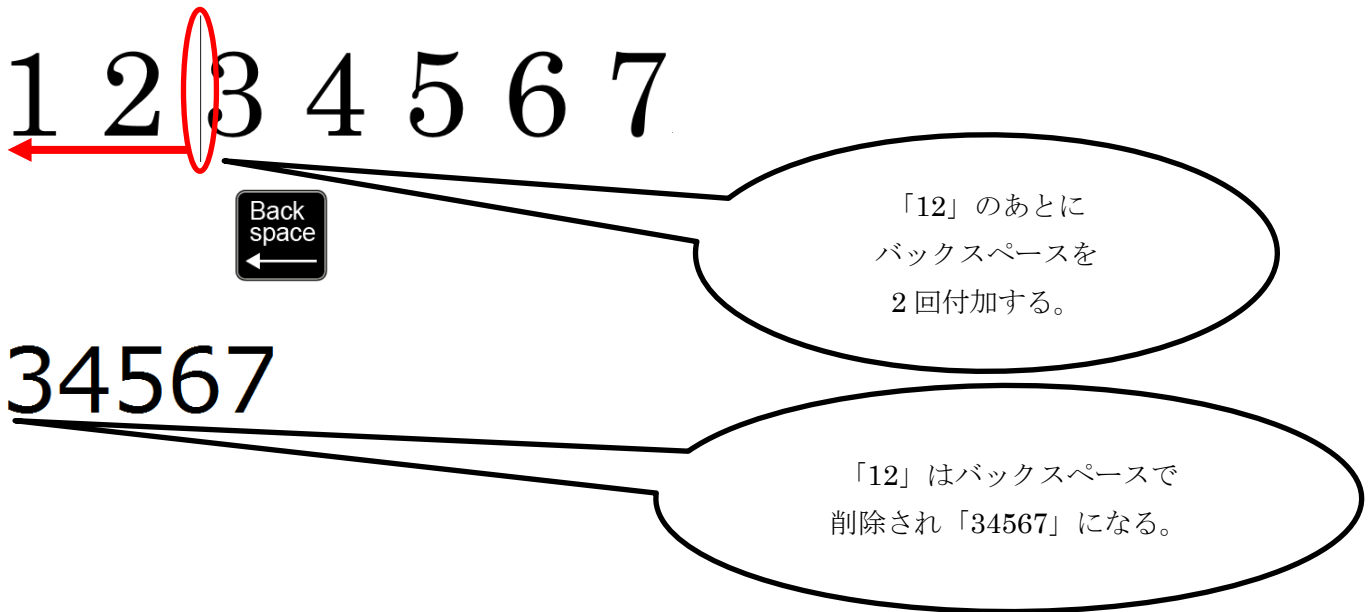
◆文字列の削除：バックスペース付加 (MD630 シリーズ)

○説明

バーコードデータにバックスペースを入れることで削除が可能です。

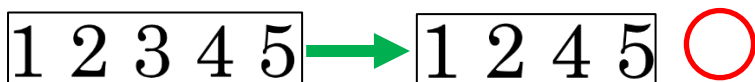
○処理イメージ

例: 「1234567」の先頭2文字を削除する (2桁目から2つバックスペースを付加する)

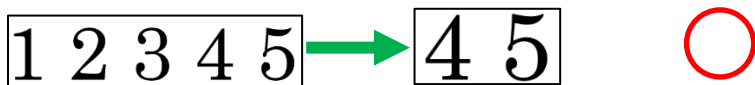


○下記のような設定は可能です。

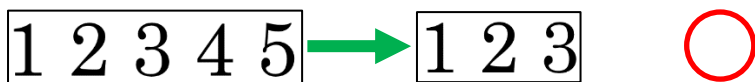
例1: バーコード「12345」から3桁目を消して「1245」と送信する。(部分削除)



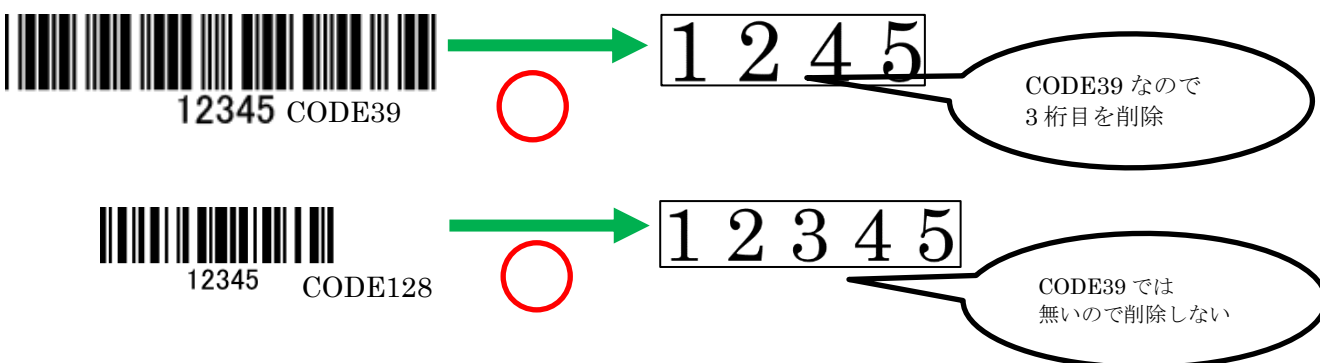
例2: バーコード「12345」の1~3桁目を消して「45」と送信する。(指定した桁から○文字削除)



例3: バーコード「12345」の4,5桁目を消して「123」と送信する(末尾から○文字削除)



例4: バーコードの種類が「CODE39 の場合のみ」3桁目を削除する (削除にコードの条件指定)



○設定手順

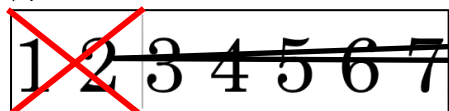
1. 下記のコードを読み取ります。



8101

2. 削除開始位置を設定してください。

例：



先頭 2 桁を消す場合は「0→2」



3 桁目を消す場合は「0→3」



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

3. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

4. 下記のコードを読み取ります。

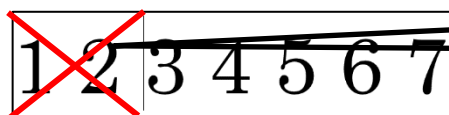


8005

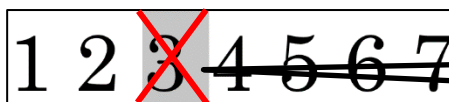
5. バックスペースを付加する回数分、「0→8」を指定します。

※20文字まで削除可能です。

例：



先頭2文字を消す場合は
「0→8」を2回。



1文字を消す場合は
「0→8」を1回

削除する文字数分、「0→8」を読み取ります。



0



8

※誤読防止のために斜めに配置しています。

6. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

>>次ページに続きます。

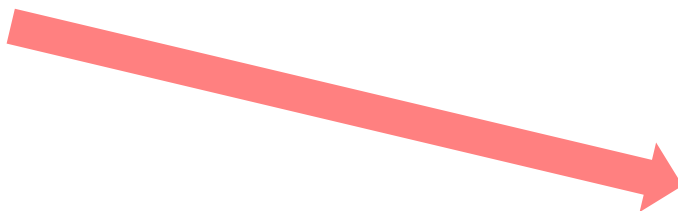
7.最後に下記コードを上から順に読み取り、設定完了です。

※コードの種類を指定して反映することも可能です。

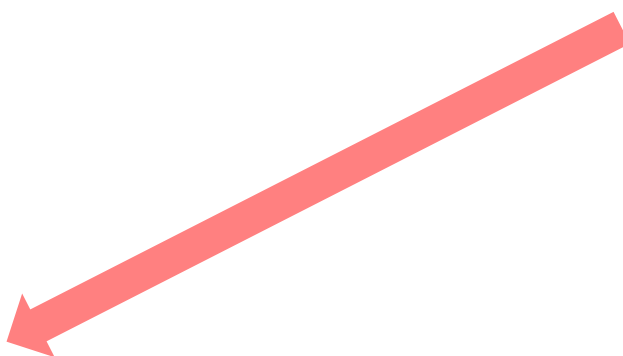
下記の「0407」コードの代わりに完全版マニュアルのコード毎に記載のある、「グループ選択を挿入」項目のコードを読み取ることで対応可能です。



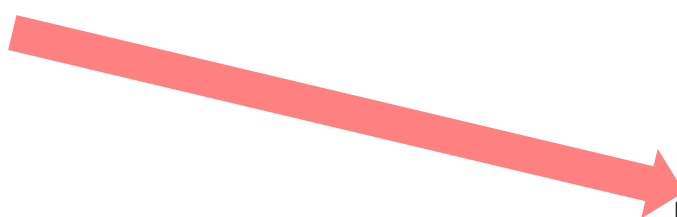
0407



0



1



設定完了